

県道西之表南種子線、カシミア橋開通式

住民らと完成祝う



表市の現地で
テープカットする関係者。西之表市の現地で

県が整備を進めていた県道西之表南種子線の「カシミア橋」がこのほど完成した。4日に西之表市の現地で開通式が開かれ、地域住民ら約180人が集い、橋長207mの種子島では最も長い同橋の完成を祝った。

同橋の場所は、西之表市安城(大田川)。県が14年度から17年度まで道路改善事業(安城工区)として整備した。事業費は約11億円。橋長207m×橋幅11・75m(車道3m×2車線、片側歩道付)。構造形式はPC3径間連続ラーメン橋、架設方法が場所打片持架設工法。

橋梁を含むバイパス区間の主な整備効果として、距離が1230mから570m、道路の高低差が約50mから約7m、最急

下西小学校トランペット隊を先頭に、参列者全員で渡り初めを行い、地域の発展につながる橋の開通を喜び合った。

施工業者は次の通り。
藤田建設興業(株) 竹原建設工業(株) 陸建設(株) コアツ工業(株) (株)富士ビーエス 大木建設(株) 東建設工業(株) (株)熊建キョーエイエステック(株) 親栄電設(株) 今別府産業(株)

縦断勾配が10%から2%、曲線区間個所が10カ所から2カ所、時間にして約2分短縮された。

開通式では、古市逸朗県熊毛支庁長、長野力西之表市長、松里保廣県議、施工業者代表の藤田護藤田建設興業(株)社長らがテープカット。

リバーロード田上見学会

長期間サービス提供

(株)岩田組(岩田三千生社長)は4、5日、鹿児島市の現地で賃貸マンション「リバーロード田上」の完成見学会を開いた。長期保証の一括借上(サブリース)の安定性と一般管理の高収益配当を同時に実現する「スーパースーパース」を活用して建てられたマンションを一目見ようと、今後マンション経営に興味を持つオーナーらが多数訪れた。

従来のアパート・マンション経営は、オーナーが管理会社に運営を任せると、一般管理がほとんどだったが、最近は一括借上(サブリース)が増加。一般管理だと管理手数料を除いた全額がオーナーの収入になるが、空室リスクが高い。一方、サブリースは空室リスク排除の代償として、家賃収入からサブリース会社に一定額を持っていかれるなど、どちらにもメリット・デメリットがある。

日本管理センター(株)(武藤英明社長、東京都)の「スーパースーパース」は、損害保険会社と提携することで家賃収入の70・90%の家賃保証料に加え、実績に応じて生じた利益もオーナーに分配することを実現。また、住宅の建設の段階から、地元建設業者や管理会社と提携することから、安くて高品質な物件と長期間に渡る優良な管理サービスを提供できるメリットがある。

建設管理センター

合格対策講座スタート

独自の受験対策で

建設管理センター九州事業部は4日、鹿児島市の県市町村自治会館で18年度国土交通大臣資格・1級土木施工管理技士資格を取得するための合格対策講座を開いた。なお、同センターでは、今回受講できなかった人のほか、他施工管理技士についても11日から鹿児島市の県市町村自治会館で開催する予定で、定員制のため早めの申し込みを呼び掛けている。

入札制度の改正や建設業法一部改正に伴う管理技術者証携帯の義務付け等により、許可業者は国家資格者の増員が急務とされている。同センターは、北海道から九州まで全国50会場で開催している。これまでに実績に基づいて教材にも研究を重ね、すべて独自の受験対策を行っている。

同センターでは、「実



試験のポイントを中心に解説。鹿児島市の県市町村自治会館で

度を取って、地域に密着した分かりやすい講習を行っており、毎年1万人以上もの合格者を輩出している。

この講座は、厚生労働大臣指定教育訓練講座(施設番号01020)、キャリア形成助成金適用講座として、助成金の受給も可能。

問い合わせ及び申し込みは、建設管理センター(フリーダイヤル0120・14・5353)まで。

マンション経営に興味を持つオーナーらが多数訪れた見学会。鹿児島市の現地で

九州の建築士集う

九州各県の建築士が集まり、建築技術の向上を図ろうと九州ブロック研究会「パッシオンinかこしま」が4日、鹿児島市のかこしま県民交流センターで開かれた。九州各県建築士会青年・女性部会の会員ら約500人が参加し、建築模型などを製作して一般との交流を深めたほか、建築士

建築士会連合会九州ブロック会が主催し鹿児島市での開催は7年ぶり。今回の鹿児島大会は、「歴史・環境と共に生きていく」をテーマに4分科会が設けられ、地域に根ざした建築を目指し市民や学生と一緒に、建築模型の製作や歴史的建築物の見学をして、建築と触れ合った。

開会式では、徳永部会長が「パッシオンは開催まで1年半かけて準備を進めてきた。このイベントを通して、皆で協力し

節目の年盛大に

市城山観光ホテルで創立25周年記念式典並びに祝賀会を開き、会員や来賓ら約200人が出席して、会のさらなる飛躍と発展を祈念するとともに節目の年を盛大に祝った。

記念式典では、岩田三千生幹事長が25年間の歩

みを紹介した後、倫理研究所法人局の有坂宏一九州・沖縄方面副会長が「先人の足跡に思いを寄せつつ、さらに役員・会員の皆さまが結束し、大きな目標に向かって前進されることを期待いたします」と式辞。来賓の伊藤祐一郎県知事、森博幸鹿児島市長(いずれも代読)も「会のご発展と、皆さまのご健康、ご活躍を祈念申し上げます」など祝辞を寄せた。

これを受け、塩川会長は「昭和56年に千葉、熊本に続いて全国で3番目に認可設立。25年の節目を機に、倫理運動の原点に立ち返り新たな目標に向かって精進してまいります」と謝辞を述べた。

各県の取組み報告

全国産業廃棄物連合会の九州地域協議会(梅田佳暉会長)は3日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで第47回九州地域協議会を開き、九州各県から会員ら約50人が参加し、各県の実情や産業処理業者優良性評価制度などについて協議した。

冒頭、梅田会長が「九州はひとつを合言葉に、社会に適応した協会運営のあり方や電子マニフェ



第47回九州地域協議会
活発な意見交換が行われた協議会。鹿児島市の鹿児島サンロ

また協議会に先立ち、福岡県環境保全公社の花嶋正孝リサイクル総合研究センター長を迎えて「日本の最終処分場の変遷」と題した講習会

九州各県の建築士が集まり、建築技術の向上を図ろうと九州ブロック研究会「パッシオンinかこしま」が4日、鹿児島市のかこしま県民交流センターで開かれた。九州各県建築士会青年・女性部会の会員ら約500人が参加し、建築模型などを製作して一般との交流を深めたほか、建築士

製作や歴史的建築物の見学をして、建築と触れ合った。

開会式では、徳永部会長が「パッシオンは開催まで1年半かけて準備を進めてきた。このイベントを通して、皆で協力し

ことができた」と感謝の言葉を述べた。また伊藤祐一郎県知事が祝辞を寄せた。

第一分科会では九州ブロックの各県から代表者(8人)を募り、コンペ参加者によってテーマに沿ったエスキスコンペを実施する「エスキスコンペ+ワークショップ」が行われ、最優秀作品賞に沖縄県代表の輪島博樹氏が輝いた。

受賞者は次の通り。
最優秀作新賞 輪島博樹(沖縄県・浦添西原支部)▽2位 瀬戸浩(長崎県・佐世保支部)▽3位 本坊美保(鹿児島県・川薩支部)▽団体賞



倫理研究所
島県倫理法人会設立25周年記念式典